

12 月 2 日に行いましたプランクトン調査（播磨灘）の結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚毒性を示す有害プランクトン、貝毒の原因となる有毒プランクトンの増殖は確認されませんでした。
- ・ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・コシノディスカスが広範囲で確認されています。細胞密度は 11 月中旬調査時よりも減少傾向です。
- ・その他の小型珪藻類は低密度でした。

表：2021 年 12 月 2 日 有害・有毒プランクトン調査結果（単位：細胞/mL \* コシノディスカスを除く）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	アレキサンドリウム属	ユーカンピア・ゾディアクス	コシノディスカス・ワイレシー (単位：細胞/L)
KA23	0	0	0	0	0	75
	10	0	0	0	0	65
	B-1	0	0	0	0	30
KA1	0	0	0	0	0	90
	10	0	0	0	0	130
	B-1	0	0	0	0	275
KA2	0	0	0	0	0	275
	10	0	0	0	0	215
	B-1	0	0	0	0	175
KA3	0	0	0	0	0	70
	10	0	0	0	0	70
KA4	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	100
	B-1	0	0	0	0	125
KA5	0	0	0	0	0	215
	10	0	0	0	0	175
KA6	0	0	0	0	0	45
	10	0	0	0	0	305
KA7	0	0	0	0	0	300
	10	0	0	0	0	5
	B-1	0	0	0	0	275
K4	0	0	0	0	0	400
	10	0	0	0	0	235
	B-1	0	0	0	0	405
T3	0	0	0	0	0	155
	10	0	0	0	0	55
屋島湾	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0

\* コシノディスカスについては試水 200 mL を濃縮して計数し、1L あたりの細胞密度に換算した値を記載しています。

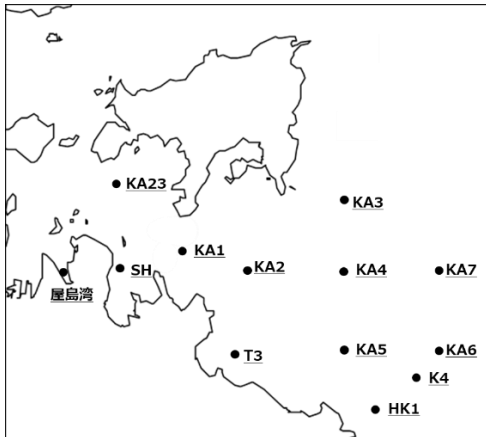
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：浅海定線調査事業）



\* 調査定点 SH および HK1 は夏季(赤潮発生時期)の臨時点です。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテナラ	-	50 細胞/mL